

第30回けんしん美術展開催

けんしん本店5階ホールにおいて10月13日から10月22日まで「第30回けんしん美術展」が開催された。初日には表彰式も行われ21名の入賞者に吉野理事長から賞状・楯・副賞などが授与された。平成4年に企業のメセナ活動として、大分県の芸術活動を支援するために始められた「けんしん美術展」も回を重ねて今年で第30回を迎え、大分の芸術の秋を代表する美術展となった。若い才能の発掘を目的に平成29年に制定された「けんしん同友会賞」は、今回で5回目を迎え、毎回若々しくフレッシュな作品が入賞している。最近では高校生をはじめ若い出展者が増え世代交代はもとより、出展数の増加にも寄与している。

今年度のけんしん同友会賞の受賞作品



「うわの空」 前田 一花



「成蝶」 井上 萌百



「PLACE」 河野 風太

けんしんTVCM「大分の宝もの」新作「竹田市：久住高原篇」完成



平成6年から続く、お馴染みのけんしんTVCM「大分の宝もの」の新シリーズ竹田市：久住高原篇が完成し放映が始まった。県内の市町村と包括連携協定を結んでいるけんしんが、そこに住む人々と共に各地域の景観、名品など、大分の宝物を探すコマーシャル。今回は久住高原の雄大な自然の中で活躍するけんしんマンとお客様が主人公。なかでも、自然の大パノラマのなかで繰り広げられる「DRAM TAO」のステージ・パフォーマンスには圧倒される。

逆境の越え方



- 1 特集/TOP INTERVIEW
株式会社 竹屋本店
中津ゆうび有限会社
株式会社 テクノ
株式会社 大建設
株式会社 山水館
- 6 コロナ禍での同友会活動の再開
- 7 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 9 けんしん同友会企業紹介
- 11 けんしんTOPICS

女性目線を大切に 喜ばれるサービスを追求

創業は昭和53年。先代の空社長が大分市大洲浜に弁当・惣菜店「ほっかほっか大将」1号店をオープンさせたのがその始まりだ。これを瞬間にチェーン展開させると、ホテルや温浴施設、飲食店の運営にも着手。現在は、九州エリアに約30店舗まで拡大した「SKY RESORT HOTELS」の運営を中心に、鉄板居酒屋「お好み倶楽部」や唐揚げ専門店「ぶんから」を営んでいる。枠にとらわれない斬新な発想を強みに、いつの時代も大分の娯楽シーンに新しい風を吹かせてきた。

従来はラブホテルと呼ばれていた業態は昨今、法制度の改正も追い風となり「レジャーホテル」へと進化を始めている。カップルに限らずおひとり様からファミリー層までを対象に、ビジネスにも女子会にも多目的に利用できる施設が増えてきた。そういったブームの到来前から、SKY RESORT HOTELSは高い娯楽性を追求してきたため、今、好事例として全国から注目を集めている。

「私たちは常に、女性を大切にしようという思いをベースにアイデアを生み出してきました」と語るのは、令和元年、新社長に就任した二宮氏だ。ある施設ではゴンドラで海を渡ってコテージにチェックインできた

り、またある施設には部屋にオーシャンビューの露天風呂が付いていた。ラブホテル特有のネガティブな面を排除し、女性が「行きたい」と思えるようリゾート性を存分に盛り込んできた。実際、レジャーホテルの話題性が高まるとともに、女子会ブランドは大人気。インターネットで予約ができる気軽さも利用者に喜ばれているようだ。「女性目線」のサービスは、ホテル以外でも生かされている。例えば「お好み倶楽部」のお好み焼きは、粉を少なめに、野菜を多めにしたふんわり軽い食感が人気。ヘルシーなうえ安価で体にも財布にも優しい。また、スーパー銭湯の先駆けとなった「ぼかぼか

大分市内に2店舗を構える「お好み倶楽部」は、もんじゃ焼きやもも焼きなどの鉄板焼きメニューが充実。高品質な素材を安価で提供している



大分中央ブロック同友会

[ホテル業・飲食業]

株式会社 竹屋本店
代表取締役 **二宮 博文氏**

DATA

〒 大分市東浜2-7-10
☎ 097-558-1461
🕒 9:00~18:00 ※各店舗の営業時間はホームページで要確認
📅 土・日曜、祝日 📍あり
https://skyclub.co.jp
http://www.okonomi-club.com

温泉高松の湯」では、炭酸温泉や塩サウナなど美容を意識したサービスを取り入れた。ホテル仕様の脱衣所でゆったりくつろげること、女湯を出口近くに設置し、素顔のまま素早く帰れるように配慮したことなど、さりげない心遣いが多くのファンを掴んだ。ちなみに温浴施設は現在、賃貸契約を結び他社に運営を委ねている。

サービスの質を保つための企業努力も欠かさない。接客や施設点検には専属のスタッフを配置し、全社でその内容を共有している。そんなノウハウが業界で話題となり、近年、後継者問題を抱える同業者から業務提携や運営代行の依頼が寄せられているという。ニーズに応え、今後は「再生請負人として、コンサルティングにも力を入れていきたい」と語る二宮社長。積み重ねてきた実績を糧に、全国展開も夢見ている。



右/スタッフにも女性が多く、社内の働きやすさも追求。左/直営施設の館内をモニターで一元管理している本館の様子



ゴンドラに乗ってチェックインできる大分市原川の「SKY PARADISE RAKUEN」はまるでテーマパーク

上/リサイクルできない廃棄物だけが最終処分場に持ち込まれ埋め立てられる。下/ガラバゴスという重機で木材を破砕する様子



「ONE TEAM」の文字が書かれた中間処理用のテントの前に、社員が大集合



紙やプラスチックの圧縮、手作業での選別が行われているテント内



中津・下毛同友会

[産業廃棄物処理業]

中津ゆうび有限会社
専務取締役 **羽田野 陽平氏**

DATA

〒 中津市植野亀山906-1
☎ 0979-32-9455
🕒 8:00~17:00 📅日曜 📍あり
https://nakatsuyubi.biz

異業種からこの業界へ転身。専務となり3年目の羽田野氏の熱い思いが社内に変革をもたらしているようだ

「ワンチーム」をスローガンに 循環型社会の実現に貢献

2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指し、地球規模で、そしてさまざまな業界で二酸化炭素の排出量を抑制するための取り組みが進められている。特に、「資源の循環」という課題に大きく直面しているのが廃棄物の処理を担う企業だ。中津ゆうびは、大分市に拠点を置く「ゆうび株式会社」のグループ会社として平成15年に設立。産業廃棄物、建設廃棄物から一般事業系廃棄物まで幅広く収集・運搬し、自社の中間処理施設で資源の選別を行っている。

大分のゆうびの代表を兼任する高司洋志社長の右腕として、中津ゆうびを率いるのは専務の羽田野陽平氏。「捨てればゴミ、分ければ資源という言葉がありますが、まさに我々の使命はゴミを選別して資源を循環させること」と力強く語る。中間処理施設では、資源をコンパクトに砕いたり圧縮したりする重機があちこちで稼働している傍、従業員が廃棄物を手作業で選別している姿がある。例えば電気や熱を伝えるケーブルも、そのまま廃棄してしまえば埋め立てゴミとなるが、中の銅線を丁寧に仕分けすればリサイクル可能な資源として売ることができ。また、林業が盛んな日田市の支店は木材の処理場に特化し、バイオマス発電用のチップを生産している。ほとんどの廃棄物が素材としての可能性を秘めており、海外にも需要がある。持ち込まれた廃棄物の約90%は資源に変え、最終処分場に持ち込むものが極力ないよう努力しているという。「そのためにも、社員の意識を変えることが必要だった」と言う羽田野専務はここ

数年、社内改革に取り組んでいる。まず、教育の一環として社員に最終処分場を見学してもらい、「なぜ廃棄物の選別が必要なのか」を肌で理解してもらったと言う。また、部署間にあった壁を取り払い企業力を高めようと、「ワンチーム」を合言葉に掲げ、連携強化も図った。「ラグビーのワールドカップの時に流行語になった言葉ですが、その前からスローガンにしていたんです！チーム力があれば会社として飛躍できるだろうと思い、互いを知りリスペクトすること、絆を深めることを意識づけし続けました」。その結果、業務が効率化され、売上も過去最高額を記録するなど、目に見えて成果が現れているようだ。

今後はチーム力にさらに磨きをかけ、外部へのサービス向上も目指していく。循環型社会の実現に向けたその役割も貢献度も大きい。規模拡大のためには地域との良好な関係も必要となる。地域とも「ワンチーム」となれるよう、これからも企業価値を高めていく。

挑戦して魅力を増し 選ばれる企業でありたい

精密部品や食品、日用雑貨などを載せ、白いボディに爽やかな青い文字で「TECHNO」と刻まれたトラックを縦横無尽に走らせている。現在は国東市安岐町にある本社のほか空港物流センター、小城物流センター、大分事業所、大分西事業所、中津事業所、国東事業所、長崎事業所の8つの拠点を構え、ビジネスにも暮らしにも欠かせない物流を担っている。

大手製造メーカーの大分進出に合わせて創業し、その警備やメンテナンスを請け負ったのが始まり。そのシェアが拡がるとともに製造ラインでの組み立て作業や部品の保管、運搬などを広く任せられるようになり、順調に規模を膨らませていった。

ところが、リーマンショック以降、関わっていた製品の需要がピークアウトし生産量が激減。業務の90%を一社からの受注に頼るといった大きなリスクを抱えていた同社は、途端に経営難に陥った。その頃に入社し、経理を任されていたのが上野社長。以前は平成17年に大分県信用組合と合併した杵築信用金庫に勤めており、その経験を生かしての転職だった。「本当に厳しくマイナスからのスタートで、その中で次のステップに進まなければなりません。幸い、運送のノウハウに加えて、商品を倉庫で保管

国東同友会

[物流サービス業]

株式会社 テクノ

代表取締役社長 上野 浩伸氏

DATA

〒 国東市安岐町下原1383-2
☎ 0978-67-2474
🕒 8:00~17:00
📅 土・日曜、祝日 📍あり
<https://www.oita-techno.co.jp/index.html>



技能実習生のために大型バスを購入。買い物や観光に連れていくなど親心をのぞかせる上野社長

できるという物流センターとしての機能を評価され、受注は徐々に増えていきました」と苦しかった当時を回想する。また、新たな活路を模索した末、学制服の生産業務という道も切り拓いた。同じ国東市内にある廃業した縫製工場を買い取り、岡山県の大分学生服メーカーから生産を受託。当初はさまざまな種類の制服を手がけていたものの、効率化を図るため詰襟の学生服に一本化。これが功を奏して品質向上に繋がりを、クライアントから一目置かれるようになったと言う。少子化やジェンダレスの問題が取り沙汰され、学制服の需要自体は減少傾向にある中、「受注が増えている」という話はその品質の良さを裏付けており、現在、縫製事業を担う国東事業所(国東アパレル工場)では、20名余りの外国人技能実習生を採用して生産体制を整えているところだ。

社長に就任して2年目。「金融マンとして培った知識をそのまま経営に生かしている」と語る上野社長。どん底を知っているからこそ、ピンチの時は常に「チャレンジしかない」と言う。大前提として、ルールや法令を遵守し、ドライバーの安全も運ぶ荷物の無事も確保することが第一。「物流は暮らしのライフラインですし、縫製は技術の高さを誇れる。そういう魅力を増して、若い世代から選ばれるような企業になりたいですね」と今後の展望を語ってくれた。

右/新築住宅を建設する様子。何度も検査を重ねて安全性を証明していく上/創業時からの土木工事は現在も堅調。道路や河川の擁壁などさまざまな現場をこなす。下/自由設計なので、内装の細かな要望にまで応えられる



小さくとも強い組織で 時代のニーズに応える

公共土木工事の請負を主体として、平成12年に創業。全くの異業種から転身した渡邊廣明社長が40代のときに1人で立ち上げ、今日までの礎を築き上げた。

早くも転機が訪れたのは、創業から10年も経たない頃。民主党政権下で公共工事が削減される中、民間工事の受注営業を開始。すると、「リフォーム」の需要が右肩上がりに増えていった。そこで、平成21年に関連会社の「ダイケンホーム」を設立。土木工事から建築工事、不動産売買まで幅広く請け負える組織をつくり、利益を伸ばしていったのだ。

手がけているのは、細かな要望に応えられる自由設計の住まいで、大分営業所を置く大分市戸次地区を中心に、少しずつシェアを拡げている。環境に優しく、災害にも強い家を求める時代のニーズに応えるため、住まいの断熱性・省エネ性能を高めるZEH(ゼロエネルギーハウス)や、FFC免疫加工を標準仕様採用。FFC免疫加工とは、建材や壁紙・床材にカビや菌の発生を抑える特殊な技術を施し、体に優しい素材とするものだ。耐震等級も、最高ランクの3等級を実現。自社に建築士やファイナンシャルプランナーなどの有資格者を多数抱え、土地探しから設計、ローンの相談までをワンストップで行えるのが大きな強みだ。「小さな規模ながら、すべてが自社で賄えるうえ、自社で仕事を生み出すこともできる環境を整えました」と渡邊社長は胸を張る。

大野同友会

[建設業]

株式会社 大建設

代表取締役 渡邊 廣明氏

DATA

〒 豊後大野市大銅町大寒2215
☎ 097-578-0292
🕒 8:00~17:00
📅 日曜・祝日、隔週土曜 📍あり
<https://daiken-group.net>



40代で2年間の修業ののち「大建設」を起業。「今後は若い人材も募集したい」と言う渡邊社長



不動産業を営む関連会社

社員数が増えた現在も、現場で作業に携わり汗をかく実直な人柄だ。

新築住宅のほか、中古住宅のリフォームや土地の売買も行っている。地域柄、高齢化にもなって土地や家を売りたいという相談も多いそうだ。相談が「地域の人々のクチコミで寄せられる」というのは、日頃から企業として地元へ貢献してきた賜物。大銅町のとあるソフトボールチームのスポンサーにもなっており、「試合の日には弁当を差し入れるんですよ」と笑顔で語る姿からも地域との良好な関係が伺える。

国が定める環境性能のレベルが高まっていること、また資材の値上がりなどにより、住宅の価格が高騰している昨今。県外業者の進出も加速しており、未来は楽観視できない。しかし、これまでに幾多の困難を乗り越えてきた渡邊社長は、壁に直面したときの対処法はいつも同じだと動じない。「攻め所を探し、どう動けば売上が伸びるか考えていくのみ。一つのことにと固執しすぎず、柔軟に。かつ、目先のことも、その先の未来も見据えて決断していくことが大切だと思っています」。



上/大分空港から車で約5分。県道201号沿いにある本社。右/縫製工場では、マスク不足の際に布マスクを作り国東市内の小中学校に寄付した

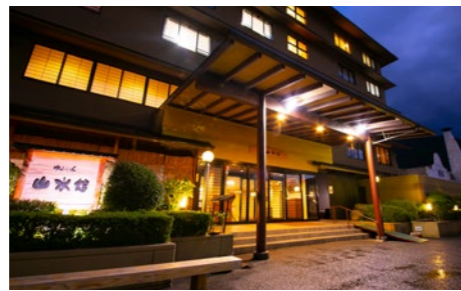


左/大分流通業務団地に構える大分事業所。下/災害時に流通を止めないよう、大分県トラック協会とも積極的に連携





従業員がマルチタスクを身に付けられるよう教育を徹底し、「お客様第一」でおもてなしを磨いていきたい」と語る東郷社長



左／国内外の観光客はもちろん、地元の人々が冠婚葬祭、忘・新年会にも利用している人気ホテル 右／九州初の地ビールブランドとして有名な「ゆふいん麦酒」はお土産としても好評



久大同友会
 [ホテル業]
株式会社 山水館
 代表取締役社長 **東郷 和浩氏**

DATA
 所 由布市湯布院町川南108-1
 ☎ 0977-84-2101
 営業 IN 15:00 OUT 10:00
 ※予約受付は9:00~17:00
 休 不定休あり [P]あり
<https://www.sansuikan.co.jp>

展望露天風呂「ゆふの湯」からは由布岳の絶景を望む。立ち寄り利用も可能



歴史と価値を大切に おもてなしを磨き続ける

「ゆふいん山水館」は、湯布院盆地の中央に佇み、今年で110周年を迎えた老舗ホテルである。由布岳の眺望が約束された展望露天風呂に、海山の幸を厳選した料理。湯布院のおもてなしを満喫できるサービスに加え、自社で製造する「ゆふいん麦酒」で湯上りの喉を潤せることも訪れた者の特権だ。現在は、110周年特別感謝企画と銘打って、特典満載のリーズナブルな宿泊プランを提供中。温泉入浴と食事付きで客室の利用も可能な日帰りプランも揃っている。

全国に誇る人気温泉観光地である湯布院も、例に漏れずコロナ禍で大きな打撃を受けている。その状況を、東郷社長はこう語る。

「2016年の熊本地震発生時、初めて1週間の長期休業をしたのですが、それ以上の経験をする事になるかと思ってもみませんでした。昨年春と夏に1カ月以上の休業をしまして、営業しても予約がゼロという日があったほどです」

ただし、この逆境をチャンスと捉え、「プラスになることをたくさん発見できた」とも語る東郷社長。休業期間中には、社員総出で館内を徹底的に磨き上げたと言う。日々の清掃作業だけでは見落としがちな部分まで

豊後牛や関あじ・関さばに、旬の食材で彩りを添えた創作和食会席が自慢



完璧にメンテナンスを行い、新たなマニュアルも作成。今後、定期的なチェックができるようシステムが整えられた。さらに、社員のスキルアップを図ろうと、研修や勉強会を活発に行い、接客の見直しや感染予防対策に至るまで部署の垣根を超えた議論が行われた。「24時間365日営業しているからこそ、今まで立ち止まってこうした場を持たせていませんでした。現在の客足の落ち込みは理由が明白で、世間全体が同じ状況。ですから、与えられたこの時間を有効に活用して、根本的なおもてなしの改善ができました」。

アフターコロナに備え、準備は万全。自慢のクラフトビールを館内の自動販売機で購入できるようにするなど、非接触型のおもて

なし体制も新たに取り入れた。湯布院は国内外の人々が憧れる観光地であり、中でも明治44年の創業は湯布院の旅館・ホテルの中でも最古。「その歴史と価値の重みを考えると責任重大。当館は規模も大きいためプレッシャーはありますが、ピンチの時は良い部分をたくさん探しながら、また時代のニーズを感じながらこれからも歩いていきたい」と意気込む東郷社長だ。また、里山の風景とともにある温泉地だからこそ、「地元の方々のお役にも立ちたい」と地域への思いにも触れる。実は、旅館組合の有志が結成するご当地アイドル「盆地ボーイズ」の一員でもある東郷社長。名実ともに、湯布院のキーパーソンとして今後の活躍を誓う。



2年振りの同友会集会・講演会が開催されています。

昨年はコロナ禍で開催を自粛しておりましたが、withコロナの流れの中で、この状況下であるからこそ同友会会員の皆様を繋ぎ情報交換や状況報告などを行うべきであると、各地域の同友会が活動を再開しました。すでに大野同友会、久大同友会、大分南部ブロック同友会の集会が行われました。同友会の現況報告、「一般社団法人おいたスペースフューチャーセンター」の専務理事 高山久信氏による大分空港の宇宙空港化によるビジネス環境の変化とその可能性についての特別講演会などが行われています。今後も各同友会で開催が計画されています。順次ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



Otakemehinyūkumiai Nipponseisakuikyūko
大分県信用組合 × 日本政策金融公庫
 協潤融資商品

ONタッグ

けんしんと日本公庫はそれぞれの強みを活かして「ONタッグ」でお客さまを応援します。

【ご利用いただける方】 大分県内の中小企業・小規模事業者及び農林水産事業者
 ・大分県内で事業・事業計画をお考えの方

【お祝いあり】 融資資金または保証資金

【ご融資条件】 ご返済期間等のご融資条件は、大分県信用組合と日本政策金融公庫が協議の上決定いたします。

大分県信用組合 0120-393-528
 日本政策金融公庫

ONタッグについて

けんしんは日本政策金融公庫と令和2年11月、県内中小企業の支援を目的として覚書を締結し協力態勢を整えていますが、さらなる協力関係を構築し中小企業の生産性向上や資金繰り支援等を行うため、新たな取組みを始めています。



名城不動産 株式会社
代表取締役 **山名 慎太郎さん**



DATA
[不動産業]
名城不動産 株式会社
〒大分市東春日町7-8
☎097-529-7836
営業 9:00~18:00
休 日・祝日 あり

コミュニティが生まれる場所をつくり続けたい

「まちづくりがしたいんですよね」と、屈託のない笑顔で夢を語る山名社長。人が暮らし、集う賑やかな場所を築いていくディベロッパーに憧れ、不動産業界に飛び込んだ。平成26年に独立起業し、大分市・別府市で売買を中心にビジネスを展開している。

「不動産は、何かが始まるスタート地点。物語が生まれていく出発点に関われることがこの仕事の魅力なんです」。そんな思いを原動力とする山名社長は、土地を購入するときはまず「ここに何があったら楽しいか？」とアイデアを思い巡らせることにしている。造成して分譲地にするのか、店舗を誘致して人流をつくるのか。規模の大小に関わらず「コミュニティがイメージ出来ること」を大切にしている。

また、売買で生まれた利益を賃貸ビルやアパート、駐車場などの物件に投資することにも意欲的だ。その場合もコミュニティを

醸成したいという思いにブレはない。「例えば、1階に飲食店のテナントが入っているビルなら、入居者に割引の優待があったり、店にも何らかの特典があったり、双方がメリットを感じられる物件ができればいい。あるいは大家さんにイベントを主催してもらうのも楽しいですね」。さらに「分譲マンションに引けを取らないくらい質の高い賃貸マンションをつくることにもチャレンジしたい。自宅を購入する前の仮住まいとして、理想を膨らませてもらえるような物件になると思う」と、より良く快適に暮らせる環境をつくるためのアイデアは尽きないようだ。複合型商業施設の開発や地方の再生まで、自由に構想は広がる。

そんな夢の数々を実現させるためにも、大事にしているのが人との繋がり。情報を提供してくれる同業者や関連企業の仲間には、「私の実力以上に、周囲が助けられていることが多い」と感謝を忘れない。遊び心を取り入れつつ、これからも理想のまちづくりを楽しみ続ける。



有限会社 綿貫牛乳販売店
代表取締役 **綿貫 敏弘さん**



DATA
[牛乳・新聞販売業]
有限会社 綿貫牛乳販売店
〒豊後大野市大野町中139-1
☎0974-34-2123
営業 8:00~17:00
休 日曜 あり

土地勘を生かして新聞販売のビジネスに参入

先代(父)が牛乳販売店としての歴史を歩み始めたのは、今から64年前。自宅や近隣の酪農家たちから搾乳したての新鮮な牛乳を集荷し、手作業で瓶詰めしたものを販売していたという。やがて九州乳業が創業すると、その特約店に転向。一時期はスーパーマーケットなどにも乳製品の卸売をしていたが、現在は一般家庭への小売を主としている。販売品目は牛乳のほかヨーグルトやデザートまで多岐に渡り、特約店しか販売できない商品を扱えるのが強み。「スーパーには売っていないから」と、特定の商品を求めて契約を続けている顧客も多いという。

それでも、流通システムが格段に進化した昨今、全盛期に比べると契約件数は激減。そんなとき、裏通りにある大分合同新聞のプレスセンターで前任者が引退することになり、業務を引き継いでくれないかという相談が舞い込んだ。全く新しいビジネスとあって「かなり悩んだ」と言うものの、「このま

ま牛乳一本で続けていても下火になるばかり。チャンスに賭ける気持ちで挑戦することにした」と、綿貫社長は当時の心境を振り返る。牛乳配達で培った土地勘を生かし、豊後大野市大野町全域への配達を請け負うことになった。

牛乳販売店の朝は太陽が昇らぬうちから始まるが、新聞はさらに早く出社は午前1時半。チラシの挟み込み作業をし、8名のスタッフを送り出して自らも配達業務に就く。それが終わると翌日の準備を済ませ、仕事が終わるのは午後3時頃だ。休みもなく「慣れるのに1年間かかった」という新しい仕事だが、「お客様に日々生かしてもらっている。その気持ちを忘れずに励みたい」と語る綿貫社長。地域への思いはひとしおで、以前、豊後大野市商工会青年部の役員として冬の風物詩「どんと焼き」を企画した経験があり、現在も同市の消防団で第三方面団長を務めている。「これからも地域とお客様を大切にしたい。それ以外何も望むことはありません。何処までも地域を愛し、謙虚に仕事に向き合う姿がまぶしい。

キラリ 新風力 New Wind

自動車業界で培った「CS精神」を新たなフィールドでも生かす

大分ダイハツで整備士として7年、ホンダベルノ(現ホンダカーズ)で営業を13年経験した後、平成14年に地元中津で独立。トップセールスとして活躍した営業マン時代、徹底的に身に付けたCS(顧客満足)の精神を武器に信頼を得て、自動車の販売・整備を一手に請け負う「オートスクエアオーイタ」は令和4年2月に晴れて創業20周年を迎える。

安定経営を確立し続けてきた一方で、若者の車離れや業界の過当競争を見据え、数年前から新たに不動産業にも参入したところだ。独学で始めたまったくの異業種への挑戦だったが、現在までにアパート10棟、戸建17棟、貸店舗7物件と順調に事業を拡大させている。高橋社長にその秘訣を尋ねると、「やはりCSの精神だ」と胸を張る。「お客様がどうしたら満足してくれるのかヒアリングし、研究して、他と差別化できるような物件を展開しています」。ペットの入居が

可能なアパートでは、壁紙の張り替えがしやすいよう工夫するなど、設計や内装の細部にまで自らのアイデアを発揮していくそうだ。

例えばある3LDKの戸建は、人工大理石のキッチン、天然素材の床にオール電化のシステムを導入し、お風呂にはテレビ付きという豪華な仕様。現在進行中の分譲地には、屋外にルーフ付きの収納スペースを設け、大型バイクの管理がしやすいような賃貸住宅を建設予定である。自動車販売店ならではの発想が面白く、同じ趣味を持つ人が集うことで楽しいご近所付き合いが生まれそうだ。どの物件も、こうした値段以上の価値を提供して好評を得ており、現在までにほぼ満室の状態。大家として「物件の管理や、居住者への丁寧な対応も心がけている」という話にも持ち前のCS精神が伺える。

不動産業も勢いに乗せ、「安定経営ができる範囲で、汗をかくオーナーでありたい」と語る高橋社長。心に秘めた新しい挑戦はすでに始まっているようだ。



株式会社 オートスクエア オーイタ
代表取締役 **高橋 直人さん**



DATA
[自動車販売・不動産賃貸業]
株式会社 オートスクエア オーイタ
〒中津市下池永186-5
☎0979-26-0033
営業 9:30~18:30
休 水・日曜 あり

オール電化仕様の戸建住宅が8棟連なる「SQUARE PLACE」が、

ふわり 爽風力 Fresh Power

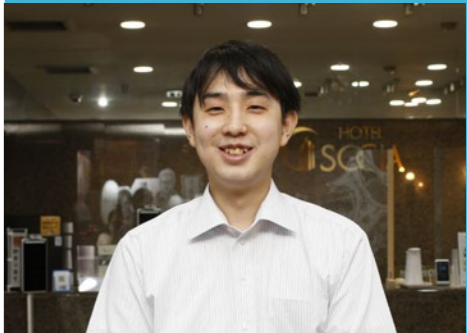
人気漫画とのコラボルームで全国的な話題に

JR日田駅前に立地する「ホテルソシア」「プラザホテルフジノイ」を運営。観光、ビジネス目的の宿泊のほか、会議や講演会、宴会など多目的なニーズに応えている。

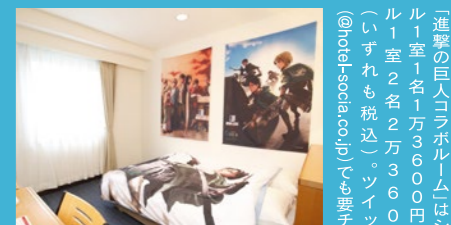
全国的な緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出下、苦戦を強いられているホテル業界だが、利便性の高い立地や地産地消をベースにした充実した食事内容のほか、ホテルソシアにはロケーション抜群の展望浴場を備えるなど、もともと魅力は多い。それを生かし、逆にコロナ禍が「新規顧客の開拓に繋がっている」と藤井専務は前向きだ。先日は日田市で合宿をしたオリンピック選手の受け入れ先にもなり、今秋はラグビー日本代表選手も宿泊予定。ニューノーマル時代では個室での宿泊が好まれるため、修学旅行の問い合わせも増えていると言う。アフターコロナを見据えた旅行会社との企画も進み、「創業から約30年になりますが、新しいことをとんと

ん展開していきたい」と未来志向だ。

中でも今、全国的な注目を集めているのが地元の取り組みの一環として展開しているホテルソシアの「進撃の巨人コラボルーム」である。日田市は、漫画「進撃の巨人」の作者の故郷。コミックス最終巻の発売を機にさまざまな企業や飲食店がコラボグッズを発売する中、ホテルソシアは部屋をまるごとその世界観に一変させて話題になっている。現在、シングルルーム8室、ダブルルーム2室のベッドカバーにキャラクターのイラストをプリント。壁にもタペストリーを2枚かけて宿泊客を迎え、宿泊特典としてグッズも持ち帰ることができる。予約開始を機に SNSを始めたところ、ファン間で大反響。自身も作品のファンだという藤井専務の思いもファンの心を掴んでいるようで、豪雨災害が懸念された8月には、SNS上に温かい心配の声も寄せられたそうだ。今後は壁紙も漫画仕様にすることを検討中とか。漫画の人気同様、ホテルソシアの進撃も止まるところを知らないようだ。



株式会社 アールホテルズ
専務取締役 **藤井 隆史さん**



DATA
[ホテル業]
株式会社 アールホテルズ
〒日田市元町17-3
☎0973-24-6000
営業 IN 15:00/OUT 11:00
予約受付は24時間対応
休 なし あり
<https://www.hotel-socia.co.jp>

「進撃の巨人コラボルーム」はシングル1室1名1万3600円、ダブル1室2名2万3600円(いずれも税込)。ツイッター @hotel-socia.co.jp

飲食業 **株式会社 アイ・アンド・ケイ**



イートイン型の店舗では大分県の「安心はおいしいプラス 認証制度」をいち早く導入し、感染予防対策を徹底

丁寧な手仕事にこだわり美味しさを届ける

カフェやケーキショップでお馴染みの「イタリアン・トマト」を県内外でフランチャイズ展開。現在、大分県下には7店舗があり、コロナ禍でも全従業員の雇用を守りながら営業を続けている。イタリアン・トマトと言えば、サイズの大きなケーキの数々。ショーケースを眺めれば、いちこのショートケーキなどの定番商品がいつでも食べられる安定感に、期限限定のタルトが加わり季節感もある。季節替わりのタルトで使うフルーツは地産地消を心がけ、生産者のもとへ足を運びセレクトするというこだわりよう。すべてのケーキを米良店に併設の工場で製造しており、パスタなどの軽食も各店舗で手作りしているという丁寧な仕事が美味しさと人気の秘密だ。ホリデーシーズンに向けて、上質な素材で作るクリスマスケーキ（4号12cm〜）の予約も受付中。お問い合わせはお近くの店舗まで。



〒大分市豊海1-3-2(本社事務所) ☎097-537-1111
 大分中央町店 097-535-7805
 ゆめタウン別府店 0977-26-6636
 別府駅前店 0977-21-1577
 ヴェルデ21店 097-554-7237
 米良店 097-567-7237
 パークプレイス大分店 097-520-7798
 都町店 097-537-3001

洋菓子製造販売 **お菓子工房 紺や**

地域に欠かせない洋菓子店であり続ける

JR三重町駅界隈の路地裏に佇む洋菓子店。かつては染物屋だったという古民家の1階が工房を併設したショップで、2階はカフェスペースである。ショーケースに並んでいるのは、季節のフルーツを飾ったショートケーキやシュークリーム、プリンなど誰にも馴染みのあるケーキばかり。そのすべてに黒糖を使っているのが優しい甘さの秘密だ。見た目の美しさや舌触り滑らかなクリームにも仕事の丁寧さを感じられ、誕生日などのお祝いにも普段のおやつにも、老若男女に愛されているようだ。パティシエは平山美佳さん。「いつか地元でケーキ屋を開きたい」という彼女の夢を両親の祥三さん、真由美さんが一緒に叶えた。最近では、特産の里芋と焼酎を使った銘菓を開発し、ふるさと納税の返礼品にも選ばれるなど地域にも貢献。地方発送も受け付けているので、ぜひ電話でご注文を。



牟礼鶴酒造の「関半礼鶴」×ホワイトチョコ、藤居醸造の秦明「ここから」×ガナッシュの2種がある「里芋と焼酎のチョコバー」



〒豊後大野市 三重町市場1610
 ☎090-1083-5080
 営業時間 10:00~18:00
 休日 日曜、第3月曜
 あり
<http://kouya-cake.com>

地域密着型 特別養護老人ホーム **望箭荘やまくに**

心を込めた介護で地域の福祉に貢献

望箭荘やまくには、中津市内に居住する人々を対象とした小規模な地域密着型特別養護老人ホームである。入居を主としながらショートステイの受け入れも行っており、地域の福祉に大きく貢献。運営は、昭和40年代障がい児を持つ保護者達が設立した「つくしの家」という会を発端に設立された社会福祉法人直心会である。山国川が流れる風光明媚な奥耶馬溪に位置し、29部屋ある居室は全室個室。施設内には天然温泉があるという快適な環境だ。また、施設から1km圏内にある2つの病院と連携しており、医療体制を充実させていることも利用者やその家族に安心を与えているようだ。感染予防対策として居室での面会禁止が長く続いているが、少しでも「会いたい」という気持ちを叶えるため、現在はタブレット面会を導入。一人ひとりの思いに寄り添う心を込めた介護を実践している。



「望箭荘やまくに」は「守実温泉」から源泉を引く天然温泉を完備。近隣に「望箭荘グループホーム山国」も構える。



〒中津市山国町守実 77-1
 ☎0979-62-3066
 営業時間 8:30~17:30
 休土・日曜
 あり
<http://www.chokusin.jp/facility/yamakuni/>

薬品販売・調剤薬局 **有限会社 緒方薬局**



滋養強壮ドリンク「コンクレパン」が社長のイチ押し。原尻の滝にも近い店は、多くの地域住民が頼りにしている

病気予防から悩み相談まで「健康」を支えたい

昭和20年代に創業したという老舗薬局。現在は豊後大野市民病院のすぐそばで、6名のベテランスタッフが人々の健康を支えている。広い店内の右側が調剤薬局、左側が薬品の販売コーナーとなっており、ぐるりと見渡せば市販薬、漢方薬、日用品、介護用品と幅広い品揃えだ。コロナ禍に対応してマスクや消毒液などを増やすなど、時期的なニーズにも応えた棚を展開している。「健康の土台づくり」をモットーに掲げ、「病気の予防に力を入れたい」と語るのは羽田野雅文社長。不調の兆しがあるときはもちろん、普段から体調を整えてほしいと、ドラッグストアでは見かけない良質な滋養強壮剤を厳選して取り扱っている。加えて「お客さまの相談にも乗りたい」と心のケアにも意欲的。「介護の悩みなども打ち明けてほしいですね」と、店の中央にはテーブルが置かれ話しやすいスペースも整っている。



〒豊後大野市緒方町馬場 21-10
 ☎0974-42-2273
 営業時間 8:30~19:00、土曜~18:30
 休日 日曜
 あり

葬祭業 **有限会社 シゲヨシ**



最大300名の参列者を収容できる斎場。葬儀には家族だけが参列するスタイルが一般的になってきた

良いお別れをサポートする「オンリーワン」の葬儀社

葬儀用品を製作・販売していた商店から発展して、昭和末期から葬祭業に参入。国東市国東町の中心部に事務所と斎場を構えている。「ナンバーワンではなくオンリーワン」をモットーに、遺族の立場に寄り添った葬儀をサポート。重吉美由紀社長は、「葬祭業は、人生の最期に立ち会える尊い仕事。故人の一人ひとりが自分の身内だと思いお見送りをしています」と語る。コロナ禍で葬儀のスタイルも変化し、以前から増えていた家族葬が一般的になってきた。一方で、昔のように自宅で葬儀を行いたいという要望も増えてきており、それぞれの希望を聞きながら準備を整えていくと言う。その点、地域ごとのしきたりを熟知しているのが強みだ。葬儀だけではなく、7日ごとのお速夜に祭壇の設置や生花の手配を行うアフターサービスも充実。また、終活の相談にも対応している。



〒国東市国東町田深 946-1
 ☎0978-72-1032
 営業時間 24時間
 あり

小売業・飲食業 **ONO Trade**

次の世代に残せるビジネスを展開

2020年6月に花とお菓子の店「Pompon Chouchou」をオープン。生花店に生まれ、フラワーデザイナーやフラワー装飾一級技能士の資格を持つ小野博美さんがたくさんのお客さんの思いを込めて開いた。店では花とお菓子のギフトを購入できるほか、体に優しい食材を使った食事やカフェ利用も可能。店内は「子育て中の女性たちがゆっくりとめぐるように」と配慮されている。小野さんを含め4人のスタッフが全員女性で、「それぞれが個人事業主として得意分野を活かしている」という就業形態もユニーク。ECサイトを効率的に活用した販売スタイルを取り入れるなど、ママたちが働きやすい仕組みを整えつつ、それを「次の世代に繋げたい」とも語る。小野さんはかねてから技能士の育成に力を注いでおり、店舗で行う講座のほかオンラインレッスンも受講者を募集中。詳細はホームページから確認を。



店名の「ポンポンシュシュ」とは造語で、「愛おしいものの頭をなでると幸せになれる」という思いが込められている



〒玖珠郡玖珠町大隈 246-1
 ☎0973-77-2762
 営業時間 9:00~17:00
 休土・日曜、祝日
 あり
<https://www.ono-trade.com>